

星野静夫、キヌヨさん
ご夫婦です



↑年中四季折々の花が咲いています

★わが町の花作り名人

『一家一花運動』を推進するうえで、皆さんに少しでも花作りの関心を高めてもらうため、自宅などで花作りに頑張っている町内のかたを紹介します。

星野さんご夫妻は長女が中学生の頃、学校からもらってきた花の苗を育てたことから花作りに関心を持たれました。また、定年後にヨーロッパ旅行に行かれた際、ゼラニュウムの魅力に取り付けられ、現在はゼラニュウムを中心に取り組んでいます。

花作りに関して、星野さんからアドバイスをいただきましたのでご紹介します。「自分で咲かせた花の種を採取後、その種を利用して苗を作ったり、水かけには、雨水や米のとぎ汁を利用すればエコにもなり、お金をかけずに楽しむことができます。花を作ることによって仏壇用の花を買ったこともありませし、花作りを通して友達の輪も広がりますよ。」とのこと。是非、皆さんも参考にしてください。

※町内で紹介したい人、花壇がありましたら自薦他薦問い
ませんので社会教育課までご連絡ください。 ☎ 86-1111

わがまちの
景観づくり

花ガイド

＊ 春の花苗は、11月中には植えつけを終え、寒さが厳しくならないうちにしっかりと根をはらせ、寒さに耐えられるように育てることが大切です。

また、チューリップや水仙、フリージアなどの球根の植え付けの時期でもあります。チューリップは、茶色の皮をむき、できるだけ深く植え込むことが、上手に咲かせる方法です。

花壇では、そろそろ夏の花が終わりになっていますが、種ができているサルビア、マリゴールド、ケイトウなどは、ほんの少しずつで結構ですので、紙封筒に入れ、しっかりと乾燥させ冷蔵庫で保存しておきましょう。来季には、直採取種できれいな花を咲かせることができます。

松葉ボタンは、暖かい場所で越冬しますので、捨ててしまわ

beautiful island and a wonderful island. * *

◎問い合わせ先

景観推進課景観係

☎ (86) 1111

(内線1269)



ず、少しだけ残しておきましょう。

それから、花壇の中をよく観察してみると、春まで育てていた花の種がこぼれて、芽を出していることもあります。

景観係では、種まき、育苗相談いつでも受け付けていますので、ご相談ください。



←小島地区花壇

創

氏名
年齢
農主
住所

おくやみ

出生
性別
保護者
住所

うぶ声

DATA

平成 22 年 10 月 31 日現在
() 内は前月比

人口	11,656	(-8)
男性	5,600	(-6)
女性	6,056	(-2)
世帯	4,397	(-5)